

農業者の皆様へ

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の侵入に注意!

～発見時の情報提供と防除をお願いします～

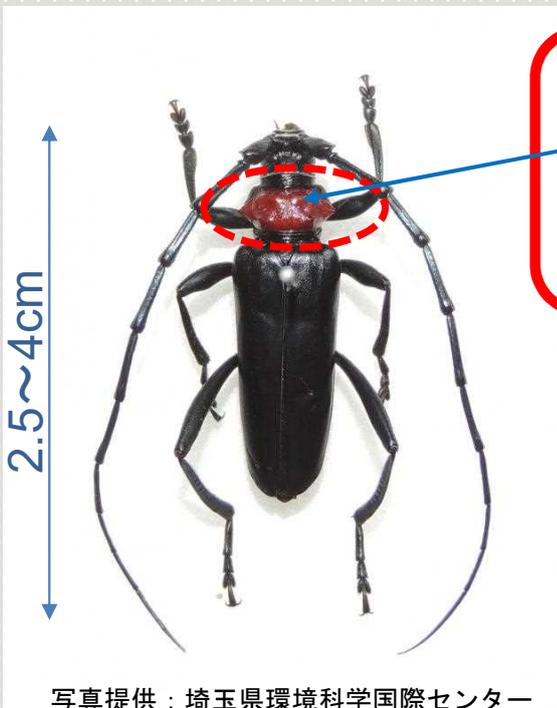
クビアカツヤカミキリは、サクラなどの樹木、モモ、ウメ、スモモなどバラ科果樹の害虫で、幼虫が樹幹内部を食害し枯死させてしまいます。

近隣の府県で既に発生が確認されていましたが、兵庫県内でも令和4年6月に成虫がサクラで初めて確認されました。

現在のところ、県内の果樹園で発生は見られていませんが、今後の侵入が予想されるため、注意をして下さい。

被害を最小限に抑えるためには早期の発見と対策が必要です。
成虫または疑わしいフラス（幼虫のフン）を見かけたら、「情報提供」と「防除」をお願いします。

《注意が必要な樹種》ウメ、モモ（ハナモモを含む）、スモモ等バラ科果樹



写真提供：埼玉県環境科学国際センター

成虫の特徴

- ・全体に光沢のある黒色で前胸部が赤い
- ・体長は2.5～4cm
- ・発生時期は6月～8月

幼虫のフン（フラス）



4～10月に樹幹から出る

※生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています。
見つけたら必ずその場で捕殺して下さい。

兵 庫 県

園内の点検と被害防止対策

成虫は樹皮の隙間に産卵します。幼虫は樹皮と木質部の間を食害しながら成長し、その間、樹幹表面にフラスが排出されます。卵から成虫になるまでの期間は2～3年です。幼虫は外から見えないため、このフラスが重要な目印になります。

《早期発見・点検》

○クビアカツヤカミキリを早期発見できるように、成虫または幼虫の活動時期である4～10月に、頻繁に点検をお願いします。右の写真を参考に点検して下さい。

■点検ポイント



《防除》

○幼虫

フラスの排出孔やドリルにより開けた穴から殺虫剤を注入して下さい。針金や千枚通しで幼虫を刺殺する方法も有効です。

○成虫

踏み潰すなどして確実に殺処分して下さい。(情報提供のため、写真又は死骸を保管して下さい。)

※疑わしいフラスが見られた樹は、樹幹部(高さ1.5～2mまで)にネットを巻き付けて、内部からの成虫の脱出を防止して下さい。

フラスの見分け方



クビアカツヤカミキリ

ひき肉状のフラスが大量に排出される
薄い木の切片を多く含む。



ゴマダラカミキリ

ほぐすと繊維状の木屑を多く含む
量はあまり多くない。

成虫や疑わしいフラスを見つけたら、農業改良課、病害虫防除所または最寄りの農業改良普及センターに連絡をお願いします。

兵庫県農林水産部農業改良課 電話：078-341-7711 (内線3997)

兵庫県病害虫防除所 電話：0790-47-1222